



2020年8月20日

各位

会社名 株式会社船井総研ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 グループCEO 高嶋 栄
(コード番号 9757 東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員
経営管理本部本部長 奥村 隆久
(TEL. 06-6232-0130)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年12月期通期の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の収束見通しが困難であるため、2020年5月20日の2020年12月期第1四半期決算短信公表時点においては取り下げ、未定で公表させていただきました。現時点におきましても、まだまだ感染状況の収束の見通しは不透明であります。現時点における入手可能な情報や予想等に基づき、2020年12月期通期の連結業績予想を算定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	24,000～25,760	4,300～5,150	4,350～5,200	2,900～3,500	58.26～70.31
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2019年12月期)	25,752	5,705	5,755	3,868	76.67

2. 修正の理由

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、国内外の経済に与える影響は長期化が予想され、当社グループの主要顧客である中小企業の業績に対しても、ある程度の影響が及ぶものと想定されます。

当社グループにおきましても、2月以降、対面による経営者向けセミナー及び経営研究会は開催自粛もしくはWEB開催への移行、コンサルティング活動は訪問型からWEB会議システム等を活用したりリモート型への移行など、事業活動は継続できているものの、十分な営業活動が出来なかったことにより、コンサルティング契約の新規受注は伸び悩む結果となり、一方で、既存契約につきましても稼働の制限により、今後も苦戦することが予想されます。他方、WEB広告運用代行業務やダイレトリクルーティング事業においては、ある程

度の成長が見込まれることから、連結売上高としては前連結会計年度と比較して93.2%から100.0%の売上高を目指す計画であります。営業利益につきましては、WEBを活用した営業活動により、旅費交通費や会場代などの原価は減少するものの、利益率の高いコンサルティング売上の構成比の減少や、人件費の増加を吸収できず、前連結会計年度と比較して75.4%から90.3%となる見通しであります。

※なお、現時点で配当予想の修正はございません。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によってこれら予想数値と異なる可能性があります。

以 上